



新しい学校の在り方は…～ポストコロナの学校を考える～



昨年初めから世界中に感染が広がった新型コロナウイルス。今年に入ってワクチン接種が始まり少しずつではありますが、世界が落ち着きを取り戻しつつあるように感じます。ただ、ワクチンは重症化を抑えるもので、ウイルスへの感染を防ぐものではありません。よってワクチン接種の後も感染予防は必要と言われています。それでも、少しずつコロナ禍を脱しつつあるということはやはりうれしいものです。

本校でも4月に実施するはずだった授業参観が、条件付きではありますが、やっと実施できました。ですが、この授業参観のように様々な行事や取組が、中止や延期になっています。感染予防とはいえ残念なことです。「出来たら子どもたちにより豊かな、より多様な経験をさせたい。」「学校と保護者とが連携を深め、より充実した教育活動を展開したい。」という思いは、保護者の皆様も教師も共通して持っているのではないかと思いますし、保護者の皆様は、「学校の様子をもっと知りたい。」「授業や行事を見たい。」と思っておられるのではないのでしょうか。学校といたしましても様々な工夫をしながら、体験活動の充実を図り、保護者の皆様との繋がりを強くし、これまで以上に学校の様子を発信していきたいと思えます。そしてそのやり方については、保護者の皆様や地域の皆様からのアイデアをいただければと考えております。

実は、近日中に学校ホームページを活用した新たな取組をご提案するつもりです。新しい取り組みですので、思惑通り、うまくいくかわかりませんが、皆様のアイデアで少しでもいい取り組みにできたらと考えています。ご協力をお願いするとともに、提案までもうしばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

タブレットを活用する上で最も大切な二つの技。

GIGA スクール構想ですべての小学生にタブレット型コンピュータが配られたのは昨年度末の話です。配布からすでに3か月が経過して学校の授業でも活用する場面が増えております。小中学生のころコンピュータゲーム（インベーダーやらパックマンやら）などに興じていた私は、コンピュータを使って学習する時代が来るとは、当時夢にも思っていませんでした。本当に時代は変わったのだという実感があります。思い返すと、あの頃ゲームの攻略には技が必要でした。（ナゴヤ撃ちなんてありましたね）。

実は、タブレット型コンピュータを使いこなすためにも、とても大切な技が二つあります。その一つ目は文章をしっかりと読むことです。タブレットに限らずコンピュータの中の情報はそのほとんどが文字情報です。確かに音声情報や動画情報もありますが、そのほとんどは文字であるということは、もうしばらくは変わらないでしょう。文字をきちんと読めるようになることは、情報化社会ではさらに重要になります。二つ目はタッチタイピングです。キーボードで文字を入力することですね。タイピングは情報社会における書く活動です。本校ではアルファベットをならう3年生から始めていきますが、訓練だけなら1、2年生でも可能ではないかと思っています。時代は変わっても「読み書き」ってやっぱり重要なんですね。

